



## 平成28年度スーパーサイエンスハイスクール実施計画の概要【実践型】

指定期間 28～32	ふりがな 学校名	ながのけんいいやまこうとうがっこう 長野県飯山高等学校	所在地	長野県飯山市大字飯山2610			
これまでの指定期間	22～26（第1期）27（経過措置）						
学科名	生徒数（H28年度:1年は予定）				研究開発の実施規模		
	1年	2年	3年	4年		計	
	普通科	120	120	120			360
	自然科学 探究科	40	53	53			146
	人文科学 探究科	40	27	26			93
スポーツ 科学科	40	26	40		106		
研究開発 課題名	中山間地の利点をいかした、高い志と課題発見力で未来を創造する科学技術系人材の育成						
研究開発 の概要	課題研究を中核に「自ら課題を発見し解決する力」を育てる教育プログラムを開発する。地域素材で課題発見力を育成し、課題研究のテーマ設定課程に重点を置く。研究過程で解決力を育成し、卓越した研究は大学と連携する道筋をつける。授業改善で課題研究との相乗効果を狙い、探究活動を客観的に評価する方法を確立する。						
研究開発 の概略	<p><b>(1) 目的・目標</b> 中山間地の自然環境とそこで育まれた豊かな感性をいかし、独創性と高い志を備え、未来の創造に挑戦し続ける科学技術系人材に必要な「課題発見力」・「解決力」を育成するプログラムの開発。</p> <p>〈1〉学校設定教科「探究」「SSH」において課題発見力・解決力を育成するプログラムを開発する。          〈2〉課題研究の取組と相乗効果を高めるための授業改善を行い、教科融合科目を開発する。          〈3〉小中高連携により国際社会に貢献する科学技術系人材育成に向けた連携プログラムを開発する。          〈4〉自然科学部で、科学系コンクール・オリンピック等に挑戦する生徒を育成する方法を開発する。          〈5〉探究活動における生徒の能力およびその向上を客観的に評価する方法を開発する。</p> <p><b>(2) 現状の分析と研究の仮説</b> これまでの実践の中では、生徒が課題研究でテーマ設定をする過程及び、評価方法に課題があった。それらを改善することを含め、5つの目標と9つの仮説を立て研究を行う。</p> <p><b>(3) 研究開発の内容・実施方法・検証評価</b> 学校設定教科「探究」「SSH」で1年次の内容を大幅に改善する。地域素材・情報をもとにし、デザイン思考を取り入れたグループワーク、ミニ課題研究を通して課題発見力を育成し、2年次課題研究のテーマ設定を行うようにする。検証評価として既存のアンケート等に加え、ループリック、論理テストを導入し、より客観的な検証を進める。</p> <p><b>(4) 科学技術人材に関する取組内容・実践方法</b> 学校設定教科「探究」「SSH」で3年次に大学と連携し卓越した追研究を行い、高大接続を視野に入れ、国際的な研究交流、小中高連携で科学技術人材の育成に取り組む。また、自然科学部の活性化を図る。</p> <p><b>(5) 成果の普及</b> 県内の中山間地校とコンソーシアムをつくり、共同研究を行い、成果を全国に広げていく。</p> <p><b>(6) 課題研究に係る取組</b> 探究科生に重点を置き、全校生徒で実施する。</p> <p><b>(7) 必要となる教育課程の特例等</b> 探究科は、学校設定科目「探究基礎」「探究実践」「探究発展」計6単位で「社会と情報(2)」「課題研究(2)」「総合的な学習の時間(2)」を代替する。普通科では学校設定科目「SS1」「SS2」計3単位で「社会と情報(2)」「総合的な学習の時間(1)」を代替する。スポーツ科学科では「SS1」1単位で「総合的な学習の時間(1)」を代替する。</p>						
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の小中学校と小中高連携学力向上事業を実施。（H20～）</li> <li>・平成26年度にデニソンカレッジバサーストハイキャンパス(豪)と姉妹校提携を締結。</li> <li>・長野県の「21世紀型教育モデル校」に指定されている。（H26～）</li> </ul>						

